

研修・会議等報告書

令和1年5月31日

テーマ	令和元年度埼玉県南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会総会		
日時	令和元年5月30日(木) 14:00~16:30	場所	南部保健所 2階 大会議室
主催者	南部保健所	費用	
講師	研修会講師：埼玉県警察本部刑事 部 組織犯罪対策局薬物銃器対策 課 警部 海老原 剛氏	出席者	武長、佐藤、芹澤、伊藤(記)

内容	
スケジュール(プログラム等)	
I 総会(14:00~14:50)	
1 開会	
2 協議会会長あいさつ	
3 保健所長あいさつ	
4 議事	
(1) 平成30年度事業報告並びに収支決算報告について	
(2) 令和元年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について	
(3) 令和元年度彩の国さいたま「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施について	
(4) その他	
5 閉会	
II 研修会(15:00~16:30)	
内容「薬物事犯の現状」	
講師：埼玉県警察本部刑事部 組織犯罪対策局薬物銃器対策課 警部 海老原 剛氏	
概要	
I 平成30年度 事業報告	
1 会議・研修会について	
2 啓発活動について	
3 指導員が参加したその他の会議、研修会について	
4 指導員が参加したその他の街頭キャンペーン・健康まつりについて	
5 指導員による学校における啓発活動について	

Ⅱ 平成30年度収支決算 収入の部 160,000円
支出の部 160,000円
差引残高 0円

Ⅲ 令和元年度 事業計画

1 重点事項

- (1) 若年層に対する大麻の正しい知識の啓発
- (2) 学校教育の中での薬物乱用防止教室の実践
- (3) 市町村等との緊密な連携のもとでの草の根運動の展開

2 事業概要

- (1) 会議・研修会について
- (2) 啓発活動について

Ⅳ 令和元年度収支予算 収入の部 160,000円
支出の部 160,000円
差引残高 0円

Ⅴ 令和元年度 彩の国さいたま「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施について

- 1 青少年啓発キャンペーン
- 2 地域団体キャンペーン及び店頭募金活動
- 3 職域募金活動

◎研修会

講演内容：埼玉県内では年間500～600件の薬物乱用に関わる検挙件数があるが、覚せい剤の件数は横ばいであるのに対し、大麻の件数がここ3年くらいで3倍ほどに増加している。覚せい剤は再犯が多いのに対し、大麻は初犯が多い。原因として考えられるのは、「タバコより安全」「使用が認められている国があるから大丈夫」などとあやまった情報をうのみにし、手を出してしまう若者が多いとのこと。タバコのように手軽に摂取できてしまうことも原因の1つである。大麻をきっかけに、より強い刺激を求め、覚せい剤やヘロインなどの強力な薬物に手を出してしまう。若者は「悪さ」に憧れを持ち、カッコよさを感じる。だが、そうではなく、正しいことを続けることがカッコよいのだということを若者たちに伝えていく必要があるのではないだろうか。

所感

薬物乱用で逮捕された人は必ずと言って良いほど、喫煙歴があるそうである。タバコは「良くないもの」としての認識はあるが、合法なので20歳をこえれば吸って良いことになる。だが、このタバコを吸うという行為は大麻の吸引と同じ動作であり、薬物使用への抵抗がうすれてしまうようである。自分の担当は小学校なので、麻薬よりも身近にあるタバコやアルコールの危険性を訴え、未成年の内に手を出さないようにするため、今後の講義などに活かしていきたい。

添付書類